

ブランチはいかが

日曜日。昨夜の雨に洗われた木々も清々しい朝。仕事も一段落したし、そうだ、プチ贅沢してブランチに行こう！

そんな要望が増えたのでしょうか。お客様の願いを叶えようと、ファーストフード店、朝食バイキングのホテルに加えて、レストランがブランチ商戦に参戦してきました。週末はどこも駐車場がいっぱいで、なかなか盛況のようです。



まずはテーブルに着いて、季節のフレッシュジュースで胃を目覚めさせながらメニュー拝見。

ご当地の定番朝食は「ププサ」。チーズ、豆や肉のペーストの具が入ったお焼きで、キャベツの漬物やトマトソースを添えて食べます。このほか、トルティーヤに目玉焼きやオムレツなどの卵料理。これに煮豆やチーズ、ソーセージ、揚げバナナのクリーム添え、アボガドなどをお好みで加えます。「タマレス」というエルサルバドル風ちまきもあります。

パンケーキ、フレンチトースト、シリアルなど外国風のもの、季節の果物盛合せなども嬉しいですね。コーヒーは基本お代わり自由です。



ププサ



揚げバナナ、豆ペーストなど



タマレス

加えて、それぞれのレストランではお得意の品で特徴を出しています。パン屋さんだったら、もちろん焼きたての各種パン。メキシコ料理店ではタコスや ブリート。シーフードレストランでは、大盛りシーフードスープやシュリンプ カクテル。肉料理専門店ではミニステーキ、ソーセージなどの盛り合わせ。これで夕食まで何もいらなくらい。マイクロ ブルーワリーでは、朝から自家製ビールで「サルー(乾杯)！」

そしてランチのいいところは、その後、丸一日とはいかなくても 2/3 日くらい自由時間が出てくること。参加者がそれぞれしたいことができます。

街中のレストランだったら、美術館や博物館に立ち寄ったり、たまにはシネマ コンプレックスの大画面で映画観賞もいいかもしれません。

最近 小綺麗なレストランが開店しているサンサルバドル火山は、車で 20 分ほど。小箱根を思わせる山道をドライブしたり、高原のコーヒー園散策が楽しめます。

海までは約 30 分。魚市場では鯛、鯖、鰹、エビ、牡蠣、イカなどをお土産に。少し足を延ばすと、国際大会も開かれるビーチでサーフィンもできますよ。



コーヒー園を臨むレストラン



魚市場

そのまま帰ってお家でまったりするのもまたよし。

…えっ、お仕事ですか…😊

勝又さかえ

勝又さかえ氏

1978年に海外青年協力隊 日本語教師として派遣される。2000年に再来し、JICA 農業プロジェクト、草の根文化無償資金協力を携わった後、現地コンサルタント業務を行う。現在は、夫と昨年呼び寄せた父親との3人で晴耕雨読の生活をしている。